

6月1日(火) さくら

最近、毎日のようにこども達とキャッチボールをしています。昨日は取れなかったけど今日は取れて喜んだり、保育士のところまでまっすぐに投げられたり、日に日にボールと仲良しになっていますよ。

ここでの経験が中当てやドッチボール等のボール遊びに繋がり、遊びの幅が広がりそうです。



「昨日、『先生！お茶！』って言われて、少し困ったんだけど、みんなはどう思う？」

こんな話をこども達に投げかけてみました。

「よく伝わってこないから嫌な気持ちになる」、「なにがほしい（したい）のか分からない」との意見が出てきました。「それじゃあ、どんな言い方があるのかな？」と、お茶がほしい時、バッジをつけてほしい時など色々な場面で考えてみると・・・

「お茶がなくなったのでお茶下さい」、「お茶下さい」

「バッジをつけられないからバッジをつけて下さい」、「バッジのお手伝いをして下さい」

言いたいことが伝わる話し方が次々と出てきて、「いいね」「うんうん」とみんなも納得の様子。大人もこどもも日常生活で疑問があった時には、このようにみんなと一緒に考えて確認しています。



外では恒例のミストで涼んだり、新しい遊び「こすり出し」を楽しんだりしています。暑い日には水筒の中身がなくなることもありますので、お子さんと中身の量を相談してみてくださいね。